

第14回香川学会ご案内

シンポジウム:テーマ「うどん物語」

日時 2009年9月27日(日) 13:00~16:00

会場 旧善通寺偕行社大広間(善通寺市役所内)

TEL 0877-63-6362

一般の方も聴講できますが、入場整理券が必要です。(無料)

<概要>

今や讃岐うどんが「うどん」の代名詞の様になっているが、この呼称は比較的最近のことであるという。うどんは歴史的には京や常陸、羽後などが古いことが文献からうかがえる。水戸の黄門様が自らうどんを打って家臣に振る舞ったという記録(西山遺聞)や稲庭うどんのルーツは常陸からとの説もあり、十七世紀には羽後国でも普及していたようである。もちろん讃岐うどんは空海が留学先の中国から持ち帰ったという説(口伝)もあるが、さぬきうどんが全国的に広まった背景には、明治中期、善通寺師団の初代師団長として在任した乃木將軍の「うどんの兵食化」などの影響も見逃せない。

シンポジウムでは、うどんの歴史的文献や口伝による発祥伝説の基調講演を元にパネラーが「うどん物語」を展開する。

シンポジウムが終って、伝説の「乃木うどん」の試食会も予定してる。

第14回香川学会シンポジウム

第1部 基調講演「うどん物語」

香川学会副会長、高松市歴史民俗協会会長 津森 明

第2部 パネルディスカッション/パネラー

さぬきうどん研究会会長 真部 正敏

総本山善通寺管長・法主 樫原 禅澄

日本うどん学会会長 佃 昌道

郷土料理研究家 岩本 仟子

香川学会事務局長 越智 繁彬(コーディネーター)

番外 「乃木うどん」試食会 於偕行社前広場

主催 香川学会

後援 善通寺市教育委員会・善通寺市文化協会

香川学会事務局

〒761-0194 高松市春日町960 高松大学生涯学習教育センター内

Tel 087-841-3216 Fax 087-841-3023

E-mail uec@takamatsu-u.ac.jp